

軍備拡張で日本経済沈没!!!

米国は一九六〇年代からICBMを配備。優秀な若者は士官学校から軍に。高給を得てミサイル管制に従事。能力を生産活動に使わない。しかし、現実にはミサイル発射はない。訓練以外「何もしない」。

同時期、憲法九条のある日本では優秀な若者は産業界で活躍。若者の歩んだ道で経済発展が違った。

石垣島、宮古島に膨大なミサイルを備える事は、多数の若者に「何もしない」為の仕事させざる事。産業の第一線で活躍すれば日本経済に貢献できるのに。

軍備では無く外交でフィリピンが領有していた南シナ海のスカボロー礁を中国は軍事占拠。フィリピンは、国際司法裁判所や外交で領有権を明確に。中国は認めないが国際的に孤立。返す事になるのは時間の問題。

軍事より子育てに
自公政権は3・11の復興予算や、福祉、医療関係から年五く六兆円を軍事予算に回す。日本国内の消費を年に数兆円削り、米国の軍需産業への支払いに回す。その金こそ子育てに回して欲しい。牧場や畑は生産物を生み価値を生む。牧場や畑を潰してミサイル基地にすれば、それだけ日本の生産が減る。景気にマイナスになる。

軍備では無く外交で
追求めれば、日本の富を米国軍需産業に渡さないで、国内消費も増やせる。

軍備拡張は日本経済沈没の道では？
あなたはどう思われますか？

石垣島天文台から

沖縄県石垣市新川 二〇二三年四月



四月二十日、部分日食があり、この石垣島天文台からの画像が全国に流された。ここには九州地方最大の一〇五センチ反射望遠鏡が備えられている。そこは標高一九七mの前勢岳の山頂。

すぐ前の畑にはビニールハウスが並び、海岸にはリゾートホテルが幾つもある。目の前の島は竹富島。前号で水牛車や石垣を紹介した。少し右後方にあるのは小浜島。

この二つの島の後に西表島が大きな姿を現す筈だが、靄で見えない。例年梅雨入りの早い石垣島だが、今年は未だ。しかし、湿度が高い。雲も低い。

山の上に行けば何とか日食を見られたのかも知れない。

